

# 児童会委員会を活用した事例

児童会委員会は、特別活動の児童会の中に位置付けられており、小学校学習指導要領「児童会活動」の「1目標」は、次のように示されている。

児童会活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画し、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。

この目標を受け、児童会給食委員会活動を充実させるために、児童自らが食生活の諸問題に気づき、自発的、自治的な活動が実践できるようにする。児童会給食委員会の活動内容には、給食時間における活動、委員会の時間における活動、食に関する学校行事や地域の行事に参加する活動などが考えられるが、児童が食の課題を自らのものと捉え、食生活の改善のために活動し、成果を実感できるように支援することが大切である。

## 事例1 給食の時間における活動

### 「食育クイズ」

郡山市立桃見台小学校栄養教諭 橋本律子

## 活動のねらい

本校の児童会給食委員会は、食育全体計画の月の指導目標に基づいて年間活動計画を作成し、様々な実践活動を行っている。今年度は、児童の望ましい食習慣の形成を図るために、この目標を実践する態度を育てることをねらいとして、給食の時間に委員会の児童が各教室を訪問し、食育クイズをする活動を行うこととした。

## 活動の実際

### (1) 手順

- ① 児童会給食委員会で月の指導目標に沿った食育クイズの内容、活動グループ、訪問日程を決め、資料の準備をする。

月	指導目標(2学期)
9	マナーを守って食べよう
10	栄養を考えて食べよう
11	規則正しい食生活にしよう
12	好き嫌いしないで何でも食べよう

※11月は第2回朝食摂取率100%習慣運動の期間であることから朝食をテーマに取りあげることとした。

- ② 教室訪問の日程を担当に知らせる。(職員打ち合わせ等)

③ クイズをするための役割分担を決め、練習する。

(2) 食べ物クイズ台本

9月の給食委員会活動（学級訪問）

ノックをし、あいさつをする。「失礼します。わたしたちは給食委員会です。」

9月の給食のあては「マナーを守って食べよう」です。そこで、これから食事のマナークイズをします。みなさんよく考えて教えてください。

**Q 1** ごはんを食べるときの正しいしせいはどっちでしょう？  
正解は、こちらです。（○を出す）

**説明** テーブルにひじをついて食べると、しせいが悪くなりますよ！  
この絵のようによいしせいで食べましょう。



**Q 2** 食べたあと動くと、胃ぶくろはどうなるでしょう？  
正解はこちらです。（○を出す）

**説明** 食べたあとすぐ動くと、胃ぶくろはビックリして、おなかが痛くなります。  
食後はしずかにすごしましょう。



これでクイズを終わります。食事のマナーを守って楽しい給食時間にしてください。

お礼のあいさつをする。「今日は、ありがとうございました。」

## 考 察

児童会給食委員会では、月の指導目標を実践してもらうため、放送、ポスターなどによる呼びかけを行ってきた。しかし、間接的な関わり方のため、意欲付けが図りにくかった。そこで今年度は、教室を訪問し子どもたちに食育クイズを行ったところ、「うちのお母さんは肘をついて食べると怒るよ」「食器をもたないで食べると背中が曲がるんだね」などの声が返ってきた。また、元氣よく手を挙げて質問に答えるなど、積極的にクイズに意欲的に取り組む姿が見られ、月の目標への理解を深めることができた。ただし、目標実践化を図るには、繰り返し指導することが重要である。給食時間だけでなく、特別活動、教科等との関連、家庭との連携により、一層の充実を図る必要がある。

## 事例2 委員会の時間における活動

### 「給食センター調理員とのつながりを深める事例」

～感謝の手紙と廃油石けん作りから～

県中教育事務所指導主事 松谷祐子

#### 活動のねらい

長沼小学校は、児童会保健委員会の中で、年間活動計画を作成し、保健に関する活動と給食に関する活動をともに行っている。

7月に「好き嫌いせず何でも食べよう」をテーマに集会活動を行った。5・6年生が寸劇で「好き嫌いしないことの大切さ」を表現し、4年生は食べ物クイズや替え歌で「何でも食べることの良さ」を呼びかけた。この集会活動を通して、食の大切さを理解することができた。

そこで、この経験を生かして、11月の委員会活動「給食センターで働く方への感謝の手紙」では、「感謝の心」と「食の大切さ」の伝え方を考えた。

日頃、給食作りで給食センターから出る廃油を使って石けんを作り、自分たちの給食を支えてくれる給食センターの方々や、野菜などを作ってくれる地域の方々に、自分たちの感謝の気持ちとして、手紙といっしょに渡すことを決め、次のような計画を立て実践した。

#### 活動の実際

##### 【保健委員会活動（廃油石けん作り）活動計画】

月 日	活 動 内 容	参 加 者
7月13日 (月)	○ 児童会保健委員会による保健集会 「好き嫌いせず何でも食べよう」を集会のテーマに5・6年生の寸劇と4年生の歌とクイズを実施 * 県中教育事務所 食育ホームページに紹介	全校児童 教職員
11月25日 (水)	○ 委員会活動日 ……実践1 11月の活動内容 「給食センターで働く方への感謝の手紙」 ・ 11月の活動内容についての話し合い ・ 感謝の心を伝えるための方法について (手紙と廃油石けんをあげる) ・ 廃油を使った石けん作りについて ・ 廃油石けんについて ・ 廃油石けんを作るための係分担	児童会保健委員会 担当教諭（養護教諭） 栄養教諭 栄養職員 給食センター調理員
11月30日 (月)	○ 昼休み時間 ……実践2 廃油石けんを作る。 (材料・方法・準備物の確認)	児童会保健委員会 担当教諭（養護教諭） 栄養教諭
12月17日 (木)	○ 委員会活動日 感謝の手紙を書く。	児童会保健委員会 担当教諭（養護教諭） 栄養教諭
1月13日 (水)	○ 委員会活動日 ……実践3 感謝の手紙と廃油石けんを袋に入れてラッピングする。	児童会保健委員会 担当教諭（養護教諭） 栄養教諭


1月26日 (火) 給食週間	○ 給食時間 調理員を招いて会食する。その時に手紙と廃油石けんの 入った袋を手渡す。	児童会保健委員会 担当教諭（養護教諭） 栄養職員 給食センター調理員
1月29日 (金)	○ 給食センター「食育だより」や学校ホームページで、活 動の紹介をする。	栄養職員

実践1 感謝の心を伝えるための方法を  
考え、石けん作りについて調べる。

質問1 家でも作れるの？

質問2 何に使えるの？

質問3 新しい油でできるの？




実践2 廃油石けん作りをする。

【材料】

- ・水 900ml
- ・苛性ソーダ 450g (1瓶)
- ・廃油 3L

【作り方】

- ①水に苛性ソーダを溶かす。ME (熱が出るので注意)
- ②廃油を加えて、かき混ぜる。(初めは手早く混ぜる)
- ③容器(牛乳パック)に詰めて乾燥させる




実践3 感謝の手紙を書いて、  
石けんをラッピングする。



日頃の給食作りに対する感謝の  
気持ちを書きました。

実践4 調理員さんと会食しました。  
感謝の手紙と廃油石けんを手渡しました。  
調理員さんに喜んでもらいました。とても  
うれしかったです。



## 考 察

給食センターにおいては、児童と給食を作る調理員は、自校給食実施校の児童と調理員とのかかわりに比べると、希薄になる傾向にある。今回「給食で廃棄される油を使って石けん作りをする」活動を通して、数回にわたって調理員とのかかわりがあった。その中で、調理員の作業内容を理解することができた。また、食材を大切にしなければならないことを理解したり、感謝のこトバを発したり、調理員に自分たちの思いを伝えるための方法を考えたりする児童もいた。調理員とかかわりをもつことによって、食にかかわる人々への感謝する心をはぐくむことができたと考える。

今後さらに、給食で使用される材料(本事例では廃油)を中心として、児童と「ひと・もの・こと」とのかかわりを深める活動が、委員会活動をより活発にしていこう支援していきたい。

事例3 食に関する学校行事

## 「朝ごはんを食べようキャンペーン～元気の輪」

～朝食摂取率100%週間運動～

三春町立三春小学校栄養教諭 井間真理子

### 活動のねらい

朝食摂取を基本とした生活リズムの向上と、望ましい食習慣の形成をめざして児童に朝食の重要性を認識させ実践する態度を育てることをねらいとして、「朝食摂取率100%週間運動」において、6月と11月に「朝ごはんを食べようキャンペーン」を位置付け、本取り組みを行った。

### 活動の実際

(1) 教職員寸劇と児童会委員会の呼びかけ

教職員が家族の朝食風景の寸劇を行い、その後、委員会所属児童全員が朝食と生活リズムの大切さについて呼びかけることにより、本運動の充実を図った。

- ① 委員会児童一人一人が自分の役割を持ち、進んで活動できるようにする。  
※発表を一部の児童が受け持つのではなく、一人一人が発表できるように配慮した。
- ② 寸劇の内容や配役は、教員の特性、学年の実態を考慮した。

日時 平成21年10月21日(水) 20分  
場所 体育館  
対象 小学校全児童  
内容 朝ご飯を食べようキャンペーン～元気の輪～

- 1 はじめの言葉
- 2 朝ごはんの寸劇・・・資料1
- 3 委員会の発表・・・資料2
- 4 おわりの言葉





## 資料1 朝ごはんの寸劇

登場人物：お父さん・お母さん・姉・弟  
舞台中央にテーブル・いす・皿やおわん、舞台左側にテレビ

新聞を読んでいるお父さん・弟ご飯だけでもくもくと食べる。  
右手からお母さんおかずを持って登場

母：あらまあ!〇〇くん「いただきます」いった?  
お父さんもいつまでも新聞を読んでいるんだから～  
さあ、いただきます。

父 しぶしぶ新聞をたたむ 母 席につき食べ始める

父：いただきます。

父 ひじをついて食べ始める 〇〇君 茶碗持ったままテレビに見入る

母：〇〇君テレビを見るのはやめて!  
まああ、ご飯しか食べてないじゃない!おかずや、味噌汁もあるのよ!  
残さないで食べなきゃダメ!  
お父さんも注意してください!

父 ひじをついていたことを注意されないように、おどおど あわてて姿勢をよくして

父：〇〇君よくかんで食べなさい。

弟：は～い。

しぶしぶ味噌汁を飲む 姉 右手から髪をいじりながら登場

姉：いってきま～す

母：まあ!お姉ちゃんなんでしょう!!朝ごはん食べなさい!

姉：朝シャンして遅くなったからもう行くわ

母：ダメよ!きちんとご飯食べなくちゃ、勉強に身が入らないわよ!

はい座ってご飯食べましょう!

無理やりご飯を食べさせる〇〇君 茶碗持ったままテレビに見入る

姉：〇〇くんよく咬みなさいよ。ほら!ご飯こぼしてるし～姿勢が悪いのよあんたって!

弟：おねえちゃんだって、箸の使い方へんだし～!!親指立てて箸持ってるの変

母：二人とも朝からけんかしないの、・・・君はテレビ見ないの!

お父さん、なんか言ってくださいよ!

父：二人ともお父さんのように姿勢をよくして、お茶碗はもって、けんかしないで食べるんだよ

姉・弟：は～い!

母：まあよく食べました。えらいわよ～

姉・弟：ごちそうさまでした

左へ下がり、声だけいってきま～す。

父：ご馳走様、二人とも元気に学校に行きましたね。

母：朝ごはんきちんと食べていきましたものね。わたしもごちそうさま!

父母とも左に下がる



## 資料2 委員会の発表

- 1 こんな朝の光景は〇〇家だけではないでしょう。皆さんのうちでも似たようなことが繰り返されていることでしょう。
- 2 皆さんも朝ごはんをきちんと食べて登校しましょう。
- 3 主食・主菜・副菜、そしてみそ汁も食べましょう。
- 4 よくかんで食べましょう。
- 5 朝ごはんの時間を決めると、朝起きる時間が大体決まります。
- 6 朝起きる時間を決めると、夜寝る時間が大体決まります。
- 7 こんなふうに、生活のリズムが決まってくると、自然と体の調子がよくなります。
- 8 一日の生活のリズムが規則正しく回ると、元気に過ごすことができます。
- 9 そして、運動も勉強も楽しくできます。
- 10 そうです。元気の輪ができます。
- 11 朝ごはんを食べることから始まる元気の輪をみんなで作りましょう。
- 12 みんなで毎日続けましょう。元気の輪を！  
(全員で) 早寝早起き朝ごはん！みんなでつくろう元気の輪！



### (2) 広報啓発活動

児童の創意工夫を生かし、多様な手段で啓発する。その際、役割分担を明確にし、各活動が全校生の朝食摂取の意識をより高めることができるよう全職員で支援する。

- 昼の放送での広報
- ポスター作成・掲示
- ペーパーサートを活用した給食の時間のクラス訪問

## 考 察

「朝食の大切さ」について児童は、毎回学習はしているもののその重要性を認識していない傾向にある。そこで、それを知らせる多面的なアプローチを試みる必要性を感じ、委員会活動を通して様々な取り組みを実施した。

児童会委員会に所属する子どもたち一人一人が、全校生に朝食の重要性について伝え、子どもたち同士の取り組みにより朝食の大切さの意識を高めることができ、朝食摂取率も上がった。食事内容を見ると、栄養のバランスがそろっていないとはいえない家庭もあるので、毎日の給食の時間、特別活動や家庭科、保健体育科の授業など、教育活動全体を通して発達段階にあわせた丁寧できめ細やかな指導が大切である。食育全体計画や年間指導計画の改善により一層の充実を図りたい。